
令和6年度 第2回周南市環境基本計画推進委員会 議事要旨

- 1 期日 令和6年10月28日（月）午前10時から午前11時45分まで
- 2 場所 周南市シビック交流センター 交流室1
- 3 出席委員（14名）、事務局（5名）、【委託業者】一般財団法人九州環境管理協会（2名）
- 4 第3次周南市環境基本計画の策定について
- 5 配付資料
 - ・会議次第
 - ・配席図
 - ・資料1 第3次周南市環境基本計画（素案）
 - ・資料1－2 コラム（小学生が思い描く、未来の周南市）
 - ・資料1－3 表紙案

1 開会

- ・事務局より挨拶。
- ・委員の出席状況について、事前に連絡を受けていた5名の委員に加え、1名が急遽欠席となった。全委員20名のうち14名が出席しており、周南市環境基本計画推進委員会規則第3条で定める定足数の過半数に達していることから、令和6年度第2回周南市環境基本計画推進委員会が成立したことを事務局が報告。

2 周南市環境生活部長あいさつ

- ・周南市環境生活部長より挨拶。

3 第3次周南市環境基本計画（素案）の諮問について

- ・周南市長は他公務のため、代理として環境生活部長から委員長に諮問書を交付。

4 議事

- ・ここからの議事進行は委員長にお願いします。
- ・委員長より挨拶。

（1）第3次周南市環境基本計画の策定について

- ・資料1、資料1－2、資料1－3について一般財団法人九州環境管理協会から説明。
- ・資料1「第3次周南市環境基本計画（素案）」に関する質疑応答
 - 委員長：委員から何か意見等はないか。
 - 委員：第4章に示される取組の指標について、現況値の年度が揃っていない。例えば指標「しゅうなん出前トークの利用者数」の現況値は2022年度ではなく2023年度の値を示すことができるのではないか。
 - 事務局：国の資料を基に設定している指標は直近の年度で現況値を示せていないものがある。ご指摘のとおり、しゅうなん出前トークの利用者数は2023年度の値を把握できているため、現況値を更新する。その他の指標についても最新の年度の値に更新できないか確認する。
 - 委員：全体的に写真やグラフが多く、イメージが湧きやすい。一方で施策の内容について、〇〇を”促進します”、”働きかけます”、”支援します”、”努めます”、”啓発します”等の表現になっている箇所がある。環境に関する基本計画として表現が難しいことは理解しているが、具体性に欠けると感じる。もう少し指標を増やすなど、数値的な管理を行うことで、市の計画として独自性が表れてくると思う。また、68頁の表4-2「典型7公害」について、市内の事例などが示されると周南市らしい計画になると思う。
 - 委員長：環境基本計画として、目指す方向性などをある程度抽象的に示している。計画期間の10年間で実際にどこまで取り組めるのか考えると、数値目標の設定は中々難しいと感じる。国や県と連動した取組もあ

る。事務局から何か回答はないか。

- 事務局 : 計画書としての具体性について、取組等に関する文章の書きぶりで“目指します”となっている部分があるが、担当課からの意見をベースに文章を整理しており、計画書全体でより具体性のある言葉に統一するなどの対応は難しい。指標の数に関するご指摘について、1つの推進施策に必ず1つは指標を設けるように調整したところであり、ご理解をいただきたい。典型7公害の市内の事例に関するご指摘について、公害というと工場からの汚染物質の排出などのイメージがあると思うが、現在は野焼きなどの生活に身近な苦情がほとんどで、個別様々な状況であるため、項目ごとに事例を示そうとすると、計画書の頁数が大幅に増えてしまうため、対応は難しい。
- 委員長 : 計画書に掲げている数値目標は毎年管理していくことになる。委員からのご指摘について、改善できる部分は事務局で検討して欲しい。そのような対応で、よろしいか。
- 委員 : 了解した。
- 委員長 : 他に委員から意見等はないか。
- 委員 : 90頁「市民、事業者に求められる取組」について、「地域の環境美化活動に参加します。」は市民のみが対象とされているが、実態を踏まえ、事業者も対象に加えてはどうか。また、「環境清掃里親制度（アダプトプログラム）を活用して、道路や公園の美化活動に取り組みます。」は事業者のみが対象とされているが、市民も対象に加えてはどうか。さらに、同頁には指標として「ごみのないきれいなまちづくり清掃活動参加者数」が示されている。QRコードなどを記載して、このような環境イベントの詳細情報などを、Webページを通じて情報提供するのはいかがでしょうか。
- 委員長 : 取組として事業者と市民の両方が対象になるとのご指摘をいただいた。また、QRコードなどを計画書に記載すれば、追加的な情報にアクセスして、様々な活動に参加する人が増えるかもしれない。事務局はどう考えるか。
- 事務局 : 「地域の環境美化活動に参加します。」は、ご指摘のとおり事業者にも参加していただいているため対象として加えるように修正する。
「環境清掃里親制度（アダプトプログラム）を活用して、道路や公園の美化活動に取り組みます。」は、制度の対象を確認し、修正するか検討する。また、QRコードの記載について、計画期間の10年間に渡ってアクセスする情報（Webページ）を、市で管理できる部分とできない部分があるため、対応は難しい。
- 委員長 : 周南市ではないが、私は自治会活動に取り組んでいる。その中で、市が管理している公園もあるが、規模が小さい公園は自治会が管理している。1市民としてではなく自治会活動の中で市民が美化活動などに取り組んでいる場合も考えられるため、「環境清掃里親制度（ア

ダプトプログラム)を活用して、道路や公園の美化活動に取り組みます。」は市民も対象として良いかもしれない。

- 委 員 : 69 頁の図 4-21「市内の一般環境大気測定局」について、同頁の空白部分を有効活用する観点で、70 頁に示されているような測定局の写真を掲載してはどうか。また、70 頁の文章「本市では、2 社 2 地点において、特定悪臭物質及び山口県悪臭防止対策指導要綱に基づく臭気指数を測定しています。」について、2 社 2 地点の具体的な測定場所を示してはどうか。
- 委 員 長 : 観測所の写真の追加と具体的な測定場所を示すことに関するご意見だったが、事務局はどう考えるか。
- (一財)九州環境管理協会 : 説明が漏れており申し訳ないが、委員に素案を会議資料として送付した後、市と調整の上、70 頁の写真「浦山送水場」を削除し、写真「宮の前児童公園」のタイトルを「市内の一般環境大気測定局」に変更した。
- 事 務 局 : 一般環境大気測定は県が実施しており、今後測定局が廃止になることも考えられるため、あくまで測定局の代表的なイメージを示す意味で宮の前児童公園の測定局の写真のみを掲載することにした。悪臭の測定場所について、具体的な企業名を計画書に記載することは適当ではないと考える。ご意見を鑑み、“2 社 2 地点”という部分を削除するのはいかがか。
- 委 員 : 支障が無い形で対応をお願いしたい。
- 委 員 長 : 他に委員から意見等はないか。
- 委 員 : 計画書として 28 頁の目指す環境像が最も重要と捉えている。目指す環境像の説明文を読んだが、内容として 29 頁の基本方針にどのように繋がっているのか分かりづらい。また、目指す環境像の説明文の 3 文目「この多様な自然と本市の特徴（強み）である周南コンビナートや、各地域の豊かな地域資源を生かした農林水産業等の「産業の力」を掛け合わせ、環境・社会・経済のバランスがとれた持続可能なまちづくりを進めます。」について、何と何を組み合わせて環境・社会・経済の 3 つのバランスがとれたと示したいのか、よく分からない。
- 委 員 長 : 目指す環境像の説明文として、もう少し分かりやすくできないかというご意見をいただいた。目指す環境像の“多様な自然と産業”の部分は、周南市に多様な自然環境が存在しており、また、コンビナートだけではない第 1 次から第 3 次の多様な産業が営まれていることを表現している。環境・社会・経済のバランスをとった持続可能なまちづくり・施策によって、皆が住みたくなる街が形成されていく。目指す環境像として包括的な意味が込められているため、これ以上分かりやすく表現することは難しいかもしれない。
- 委 員 : コンビナートは建物ではないか。コンビナートで産業を表現しているのか。目指す環境像の説明文として、何と何を並列で取り扱ってい

るのか分からない。

○ 委 員 長 : 周南コンビナートは市域の様々な産業が結び付いて形成されている。事務局は文章を修正できないか検討して欲しい。

● 事 務 局 : 何と何の組み合わせなのか分からないというご指摘について、現在の説明文は読点の位置が悪いかもしれない。修正を検討する。

○ 委 員 長 : 他に委員から意見等はないか。

○ 委 員 : 19 頁の文章「本市には気象観測所が和田と鹿野の2箇所に設置されており、近傍では岩国市の広瀬と下松市の下松に設置されています。」について、下松市に下松地区がある訳ではないため、表記として違和感がある。

● 事 務 局 : ご指摘を踏まえ文章を修正する。

・資料1－2「コラム (小学生が思い描く、未来の周南市)」に関する質疑応答

○ 委 員 長 : 委員から意見等はないか。

○ 委 員 : イラストを掲載することは雰囲気や和らいで良いと思うが、もう1～2つほどコメントを追加できないか。

● 事 務 局 : イラストを削除して掲載するコメントの数を増やすことは可能。委員全員の意見として対応して良いか。

○ 委 員 : イラストは消さずにサイズを小さくしても良い。できる限り多くのコメントを掲載できると良い。

○ 委 員 長 : 他に委員から意見等はないか。

○ 委 員 : 掲載されているのは小学4年生のコメントとのことだが、核心を突くものがある。私自身も現在小学4年生の子どもと暮らしているが、掲載されているコメントを見た時、本当に小学4年生が寄せたコメントなのかと感じた。これは寄せられたコメントをそのまま掲載しているのか。

○ 委 員 長 : 実際のコメントに修正等を加えているのかというご指摘である。

● 事 務 局 : 寄せられたコメントの全文は、紙面の都合上掲載していない。意見の総数は1,800程度で、その中から非常に良いコメントを抽出し、文章を抜粋し掲載している。子どもによりコメントの量は異なっており、“きれいなまち”などの簡潔なコメントもあれば、長文でのコメントもいただいた。

○ 委 員 : 一見して分かりやすいコメントも掲載すれば、リアリティが出るかもしれない。現状では、大人が考えたコメントなのではないかと感じてしまう。小学4年生らしいコメントが掲載できれば良い。

○ 委 員 長 : 掲載するコメントは計画期間の10年間残り、その後も文書として残っていく。コメントとしてリアリティが必要だというご指摘も分かるが、コラムとして示す上で、ある程度情報を選別していく必要もある。コメントの数を増やすため、文字を小さくすると、見えづらくなってしまって良くない。掲載するコメントの内容は事務局が検討す

るということによろしいか。

○ 委 員 : 寄せられた多くのコメントについて、AI を活用して頻出ワードを示してはどうか。事務局から話があったように、例えば“綺麗な町”といったコメントの“きれいな”が頻出ワードとして示されれば、小学4年生からのコメントとしてリアリティが出ると思う。頻出ワードを示すパターンと、現在の整理のようなコメントの抜粋版の2つのパターンが示されれば良いかもしれない。現在は少ないコメントの抜粋となっており、折角多くのコメントをもらっているのに活用されておらず勿体ない。

○ 委 員 長 : ご意見を踏まえ、事務局は表現方法を工夫していくということで検討を進めて欲しい。

・資料1－3「表紙案」に関する質疑応答

○ 委 員 長 : 本会議の開催にあたり事前に事務局と打合せを行い、表紙案を確認した。その際、写真が複数のパターン(案2)は、裏表紙が白地ベースで勿体ないと意見した。写真1枚のパターンで用いられている写真を線画のように加工して掲載してはどうかと話したところ、事務局が取り急ぎ案を作成してきたため、委員の皆様にもこの場で情報共有する。表紙案としては2案が諮られているが、2択ではないため、委員の皆様からは様々のご意見をいただきたい。

○ 委 員 : アサギマダラと黒髪島から太華山を望む風景の写真や、鹿野で撮ったアサギマダラとフジバカマの写真がある。表紙の写真として活用してもらえればと思う。

○ 委 員 長 : 環境基本計画の表紙として、自然を感じる良い写真だと思う。委員が撮影した写真なのか。

○ 委 員 : そうである。アサギマダラは丁度今の時期に飛んできている。

○ 委 員 長 : 表紙案はあくまでデザインの話になってくるため、委員は是非ともこうして欲しいなどの要望があればこの場で意見して欲しい。無いようであれば、本委員会が挙げた委員の意見を踏まえ事務局が検討し、委員長が表紙案を確認して決定するという事で、一同よろしいか。

○ 委 員 一 同 : よい。

○ 委 員 長 : それではそのような方針で事務局は検討を進めて欲しい。

5 閉会

- ・事務局より挨拶。今後の予定について説明。
- ・本会議で挙げた委員からのご意見を踏まえ、素案の修正案を本会議の議事録とともに委員に送付する。

以上